

雑 報

IAU コロキウム No. 80 「二重星」

今世紀最大と言われた6月11日の皆既日食の少し前6月3日—7日に上記の研究会がインドネシアのバンドンで開かれた。今年はボッシュ天文台の創立60周年にあたり、それを記念しての開催である。

参加者は約60名で、観測家が圧倒的に多かった。このくらいの規模だとプログラムがきつくないので休憩時間にゆっくり話ができて、またすぐに参加者全員と顔なじみになるので、和気あいの雰囲気であった。日本からの参加者は京大の斎藤(ε Aurの分光学的研究, および名大の早川: アジアにおける天文学の将来の代読), 蜂巢(回転ポリトロプのダンベル型平衡形状の分裂と連星状態), 東大の加藤(新星爆発に伴う定常的な質量放出)の3人であった。

詳しい内容については収録が *Astrophys. Sp. Sci. Suppl.* として出版される予定なのでそちらを見ていただきたい。講演は初日の Kopal (Bappu 氏をしのぶ記念講演), Dommanget (星の進化や銀河力学にとっての連星研究の重要性) をはじめとして、観測中心のレビューでは, Herczeg (主系列星の連星), Allen (共存星), van der Hucht (ウォルフ・ライエ星), Leung (早期型近接連星系), Budding (古典的アルゴルの $Q-\log P$ 分布), Van den Heuvel (近接連星の進化) があり, 理論関係では Bath (降下円盤の物理), de Loore (連星の進化) があった。星の観測については私は門外漢(嬢)でもあるが、英語の問題もあるので全体的な感想は語れないが、OB型星を含む若い連星のパラメータを統計的に調べて星形成の様子をさぐる試み(Lindroos)や、新星爆発を起こした星が超新星になったかを統計的に調べるもの(Duerbeck)が興味深かった。また蜂巢の発表はポリトロプ連星の形状をきれいなスライドで写し、大好評であった。

番外にはボッシュ天文台とお茶工場(ボッシュはお茶の栽培で得た大金で天文台を作った)の見学、インドネシアの伝統音楽と舞踏の夕べ、火山へのバス旅行、その他の催しがあった。これらにより参加者どうしがすっかり仲よしになり、会議をよい雰囲気楽しく盛りあげるようになった。国内の会議もそうであるが、会議以外のような場面は大変重要である。論文に書かれていないことも直接会うとわかるし、世界の水準を知るという意味で私は得るところが大きかった。

ついでに旅費についてひとこと言うと、会議には Lindroos のような若い OD も来ていたが、自費で来ているのは日本の若手2人だけであった。国際交流の必要性については私などが言うまでもない。若手が気軽に海外へ行けるような制度があればよいと思う。

6月11日には皆既日食があった。ゆっくりと空が暗くなり、風が冷たくなって皆既食になる。これは膚で感じられる数少ない天文現象であろう。残念ながらうすい雲がかかってコロナの外部がはっきりしなかったが、会議の参加者のなかには皆既日食見物が3回め、4回めという人もいたので、私も次回に期待したい。

(加藤万里子)

訂 正

11月号常田佐久氏記事中, p. 289 左側「2. …X硬…」を「2. …硬X…」, 右側2行目, 「実質」を「良質」, p. 290 左側, 8行目「34万度」を「3千万度」, p. 293 左側12行目, 「硬線像」を「硬X線像」, 19行目「生じているとき考え」を「生じていると考え」, 20行目「34万度」を「3千万度」, 23行目, 「24万度」を「2千万度」, 右側, 29行目「34万度」を「3千万度」, 31行目「電子ビーム元論」を「電子ビーム一元論」, 下から5行目, 「グラジュアに」を「グラジュアルに」, p. 294 左側, 19行目「ポルト」を「ポトル」にそれぞれ訂正し、お詫び致します。

1983年6月の太陽黒点 (g, f) (東京天文台)

1	—	—	6	8,	63	11	—	—	16	—	—	21	5,	19	26	—	—
2	8,	26	7	8,	66	12	—	—	17	3,	35	22	4,	15	27	—	—
3	7,	30	8	—	—	13	7,	19	18	—	—	23	4,	34	28	—	—
4	6,	31	9	6,	54	14	6,	22	19	4,	42	24	—	—	29	4,	56
5	7,	49	10	—	—	15	—	—	20	—	—	25	—	—	30	2,	40

(相対数月平均値: 67.1)

昭和58年11月20日	発行人	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
印刷発行	印刷所	〒162 東京都新宿区早稲田鶴巻町251	啓文堂 松本印刷
定価 300円	発行所	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
		電話 三鷹 31局 (0422-31) 1359	振替口座 東京 6-13595